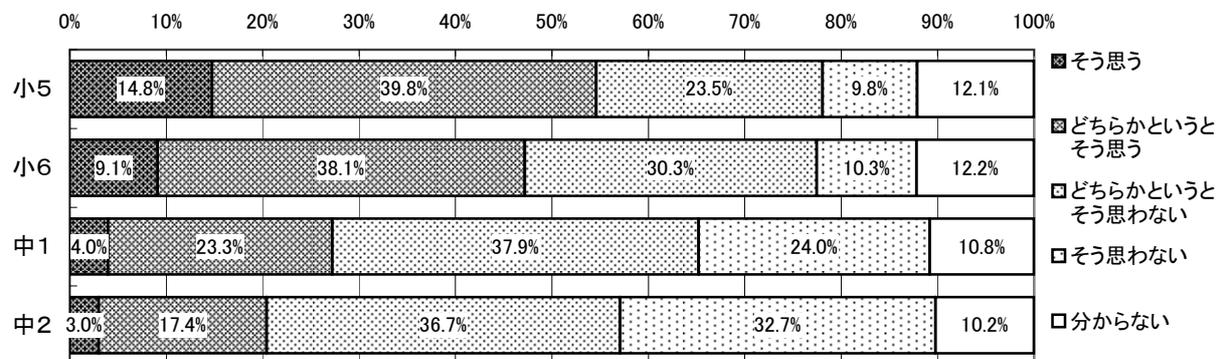


(3)各設問の結果・分析の概要

1 勉強は好きですか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① そう思う	14.8%	9.1%	4.0%	3.0%
② どちらかというと思う	39.8%	38.1%	23.3%	17.4%
③ どちらかというと思わない	23.5%	30.3%	37.9%	36.7%
④ そう思わない	9.8%	10.3%	24.0%	32.7%
⑤ 分からない	12.1%	12.2%	10.8%	10.2%

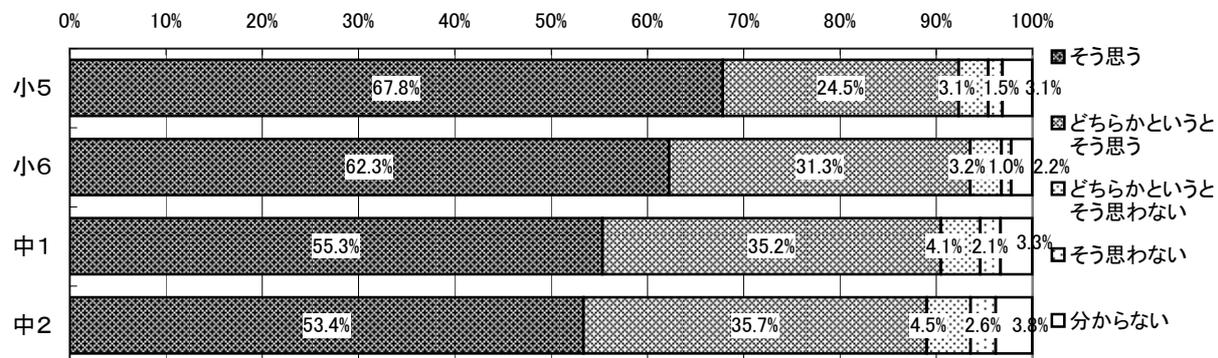


◇「勉強好き」の割合は昨年度より増加

「そう思う」「どちらかというと思う」を含めると、勉強が好きな児童（5・6年）は5割程度、生徒（1・2年）は2～3割である。これは、昨年度と比較して、4学年とも2～8%程度増加している。一方、1～3割程度の児童生徒が「そう思わない」と答えている。また、勉強が好き・好きではないの理由としては、「勉強が分かる・できる」ことが影響していることを記述からとらえることができる。今後は、「勉強が分かる・できる」ことが学習への意欲に影響することを踏まえ、一人一人に基礎的・基本的な内容が確実に身に付くよう、一層きめ細かな指導を充実させることが必要である。

2 勉強は大切だと思いますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① そう思う	67.8%	62.3%	55.3%	53.4%
② どちらかというと思う	24.5%	31.3%	35.2%	35.7%
③ どちらかというと思わない	3.1%	3.2%	4.1%	4.5%
④ そう思わない	1.5%	1.0%	2.1%	2.6%
⑤ 分からない	3.1%	2.2%	3.3%	3.8%



◇9割程度が「勉強は大切」という意識をもつ

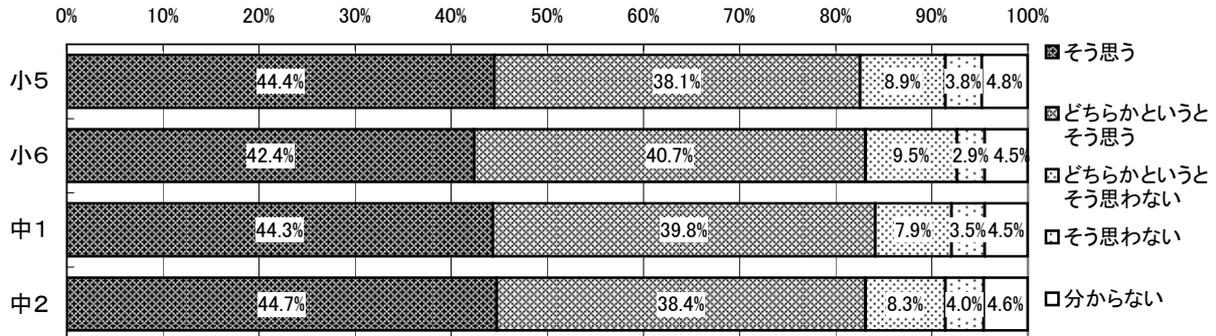
(H17新設)

「そう思う」「どちらかというと思う」を含めると、4学年ともに9割程度の児童生徒が勉強は大切であるととらえている。

今後は、勉強が大切であることをより実感できるよう、「勉強の意義」を自己の生き方や進路等とのかかわりから一層深く見つめるとともに、実生活と関連付けた学習内容の工夫や指導を充実させることが必要である。

3 努力して勉強しなければいけないと思いますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① そう思う	44.4%	42.4%	44.3%	44.7%
② どちらかというと思う	38.1%	40.7%	39.8%	38.4%
③ どちらかというと思わない	8.9%	9.5%	7.9%	8.3%
④ そう思わない	3.8%	2.9%	3.5%	4.0%
⑤ 分からない	4.8%	4.5%	4.5%	4.6%



◇8割強が「努力して勉強しなければいけない」と思っている

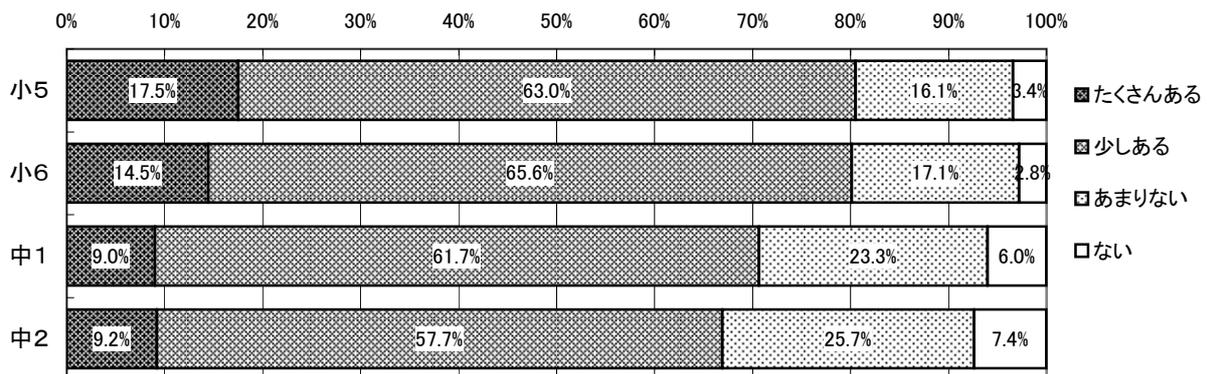
(H17新設)

「そう思う」と答える児童(5・6年)生徒(1・2年)が4割強、「どちらかというと思う」が4割程度で、学年に関係なく8割程度の児童生徒が、「努力して勉強しなければいけない」という意識をもっている。

今後は、「努力して勉強しなければいけない」という意識を基盤にして、一人一人にとっての学ぶ目的や意義をより明確にし、自ら意志をもって学習を進めていくことについての指導を充実させることが必要である。

4 自分から進んで勉強しようとする気持ち(意欲)がありますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① たくさんある	17.5%	14.5%	9.0%	9.2%
② 少しある	63.0%	65.6%	61.7%	57.7%
③ あまりない	16.1%	17.1%	23.3%	25.7%
④ ない	3.4%	2.8%	6.0%	7.4%



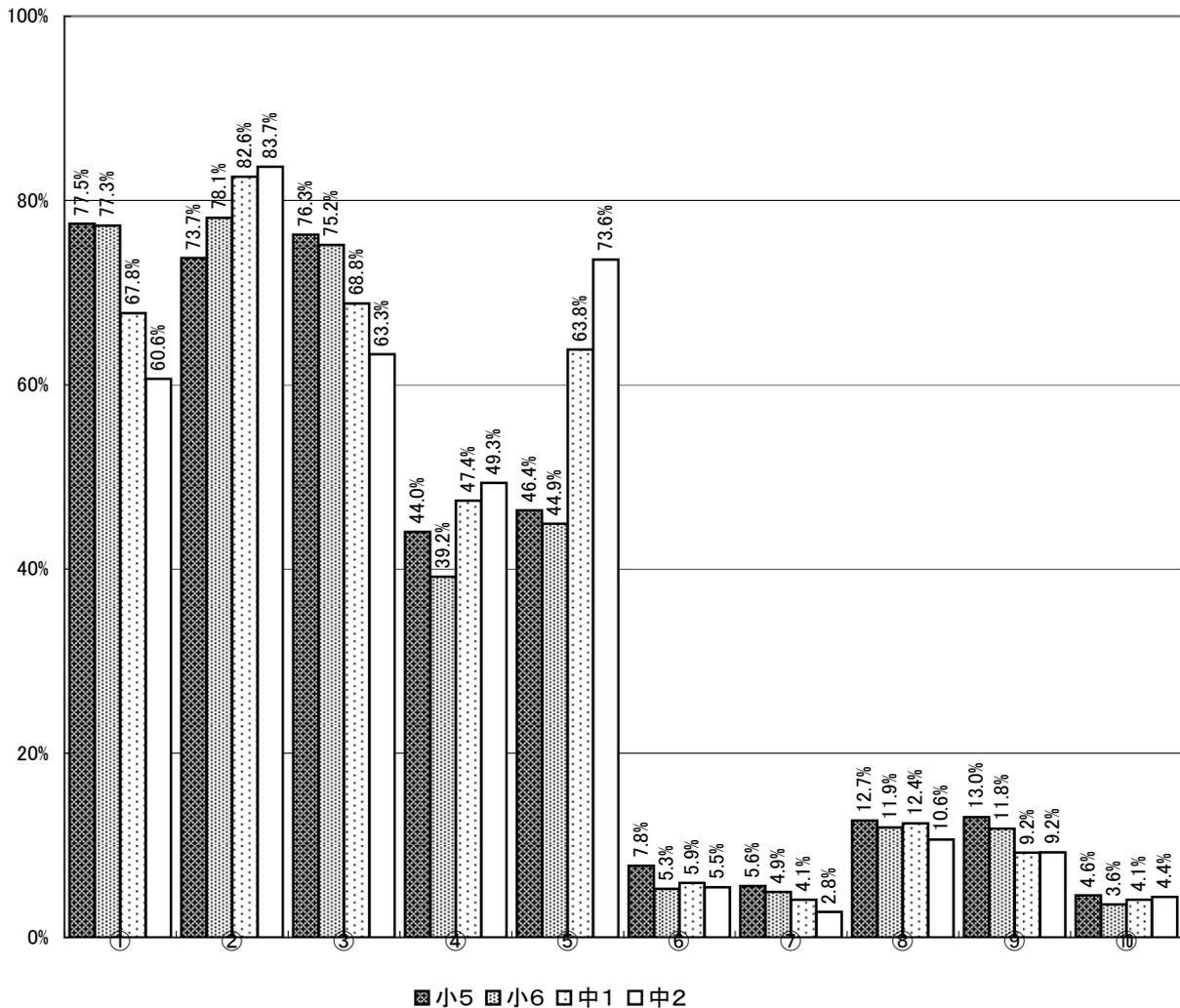
◇学ぶ意欲がある児童8割・生徒7割 意欲のある割合は昨年度より増加

「たくさんある」「少しある」を含めると、自分から進んで勉強しようとする気持ち(意欲)がある児童(5・6年)が8割、生徒(1・2年)が7割程度となる。「たくさんある」は、昨年度と比較して児童生徒ともに4%程度増加している。

今後は、児童生徒主体の教育活動を一層充実させることで、主体的に学ぶ意欲の喚起を図り、「勉強が分かる・できる」ことによる学ぶ喜びを実感として味わわせていく指導を充実させることが必要である。

5 何のために勉強すると思いますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 新しい知識や考え方などを学ぶため	77.5%	77.3%	67.8%	60.6%
② 希望する職業につくなど将来の夢をかなえるため	73.7%	78.1%	82.6%	83.7%
③ 将来、世の中の役に立つため	76.3%	75.2%	68.8%	63.3%
④ よい成績をとるため	44.0%	39.2%	47.4%	49.3%
⑤ 受験に合格するため	46.4%	44.9%	63.8%	73.6%
⑥ 親や先生にほめてもらうため	7.8%	5.3%	5.9%	5.5%
⑦ 友だちに認めてもらうため	5.6%	4.9%	4.1%	2.8%
⑧ 友だちに負けないため	12.7%	11.9%	12.4%	10.6%
⑨ その他の理由のため	13.0%	11.8%	9.2%	9.2%
⑩ わからない	4.6%	3.6%	4.1%	4.4%



◇6割以上が「新しい知識や考え方などを学ぶため」「将来の夢をかなえるため」「世の中の役に立つため」を学ぶ意義ととらえている

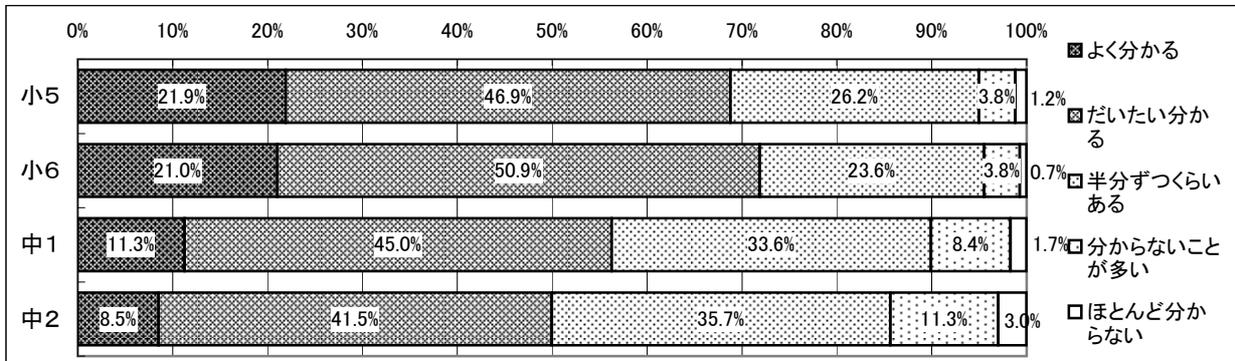
(H17新設)

「新しい知識や考え方などを学ぶため」は、児童（5・6年）が8割程度、生徒（1・2年）が6～7割程度である。「希望する職業につくなど将来の夢をかなえるため」は、学年進行とともに7割～8割に高まる。一方、「将来、世の中の役に立つため」は、児童が8割弱に対して、学年進行とともにわずかではあるが減少し、生徒では7割弱となる。また、「受験に合格するため」を学ぶ意義としているのは、中学生になると高くなり、中2では7割以上である。「よい成績をとるため」は、児童が4割、生徒が5割程度である。

今後は、児童生徒の発達段階に応じて、多様な観点から、自己の生き方を見つめられるような体験的な活動を充実させることで、学ぶ意義や目的についての意識の高揚を図る指導を充実させることが必要である。

6 学校の授業がどの程度分かりますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① よく分かる	21.9%	21.0%	11.3%	8.5%
② だいたい分かる	46.9%	50.9%	45.0%	41.5%
③ 分かることと分からないことが半ずつくらいある	26.2%	23.6%	33.6%	35.7%
④ 分からないことが多い	3.8%	3.8%	8.4%	11.3%
⑤ ほとんど分からない	1.2%	0.7%	1.7%	3.0%



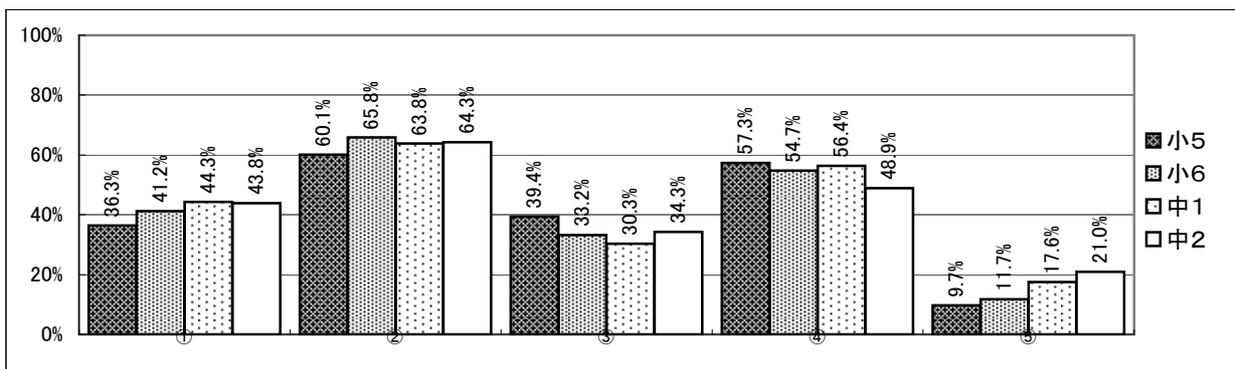
◇「授業が分かる」児童が7割・生徒が5割 授業が分かる割合は、昨年度より増加

「よく分かる」「だいたい分かる」を含めると、授業が分かる児童（5・6年）は約7割、生徒（1・2年）は5割強であり、その傾向は昨年度と同様である。「よく分かる」「だいたい分かる」の割合は児童で3%程度、生徒で5～6%増加しているが、中学校になると、授業が分からなくなる割合が増加する傾向は変わっていない。

今後は、各教科で身に付けなければならない力を明確にし、個々の児童生徒の学習状況を的確に踏まえて、個に応じたきめ細かな指導を引き続き充実するとともに、特に、中学1年生における丁寧な指導を充実させることが必要である。

7 授業の中で分からないことがあったら、どうすることが多いですか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 自分で調べる	36.3%	41.2%	44.3%	43.8%
② 友だちにたずねる	60.1%	65.8%	63.8%	64.3%
③ 先生にたずねる	39.4%	33.2%	30.3%	34.3%
④ 家の人や塾の先生にたずねる	57.3%	54.7%	56.4%	48.9%
⑤ そのままにしておく	9.7%	11.7%	17.6%	21.0%



◇6割以上の児童生徒が分からないことがあったら「友だちにたずねる」

(H17新設)

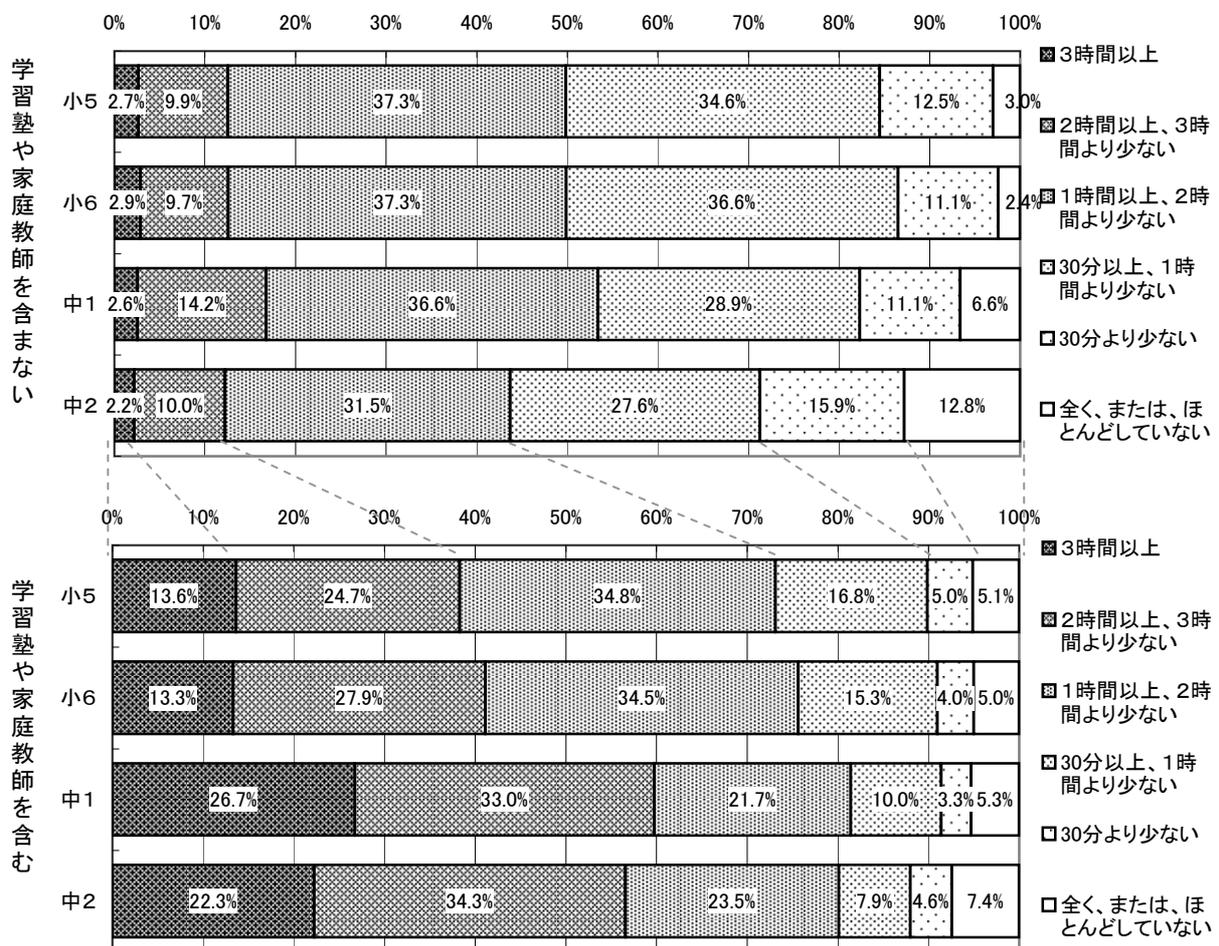
分からないことがあったら、6割以上の児童(5・6年)生徒(1・2年)が「友だちにたずねる」、5割程度の児童生徒が「家の人や塾の先生にたずねる」、3～4割程度の児童生徒が「自分で調べる」「先生にたずねる」と答えている。「そのままにしておく」は、学年進行とともに増加し、中2では2割になる。

今後は、児童生徒が相互に信頼し支え合って生活できる好ましい人間関係を築けるよう指導するとともに、仲間とともに学び合う授業により、自ら学び自ら考え、問題を解決していく指導を充実させることが必要である。また、教師は、教育相談的な支援に努め、一人一人の学習の見届けと指導を充実させることが必要である。

8 土曜日、日曜日を除いた日で、学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい勉強しますか。

★学習塾や家庭教師を含まない	小5年	小6年	中1年	中2年
① 3時間以上	2.7%	2.9%	2.6%	2.2%
② 2時間以上、3時間より少ない	9.9%	9.7%	14.2%	10.0%
③ 1時間以上、2時間より少ない	37.3%	37.3%	36.6%	31.5%
④ 30分以上、1時間より少ない	34.6%	36.6%	28.9%	27.6%
⑤ 30分より少ない	12.5%	11.1%	11.1%	15.9%
⑥ 全く、または、ほとんどしていない	3.0%	2.4%	6.6%	12.8%

★学習塾や家庭教師を含む	小5年	小6年	中1年	中2年
① 3時間以上	13.6%	13.3%	26.7%	22.3%
② 2時間以上、3時間より少ない	24.7%	27.9%	33.0%	34.3%
③ 1時間以上、2時間より少ない	34.8%	34.5%	21.7%	23.5%
④ 30分以上、1時間より少ない	16.8%	15.3%	10.0%	7.9%
⑤ 30分より少ない	5.0%	4.0%	3.3%	4.6%
⑥ 全く、または、ほとんどしていない	5.1%	5.0%	5.3%	7.4%



◇ 4割の児童と6割の生徒が、2時間以上の家庭学習（学習塾等含む）をする

（「学習塾や家庭教師を含まない」H17新設）

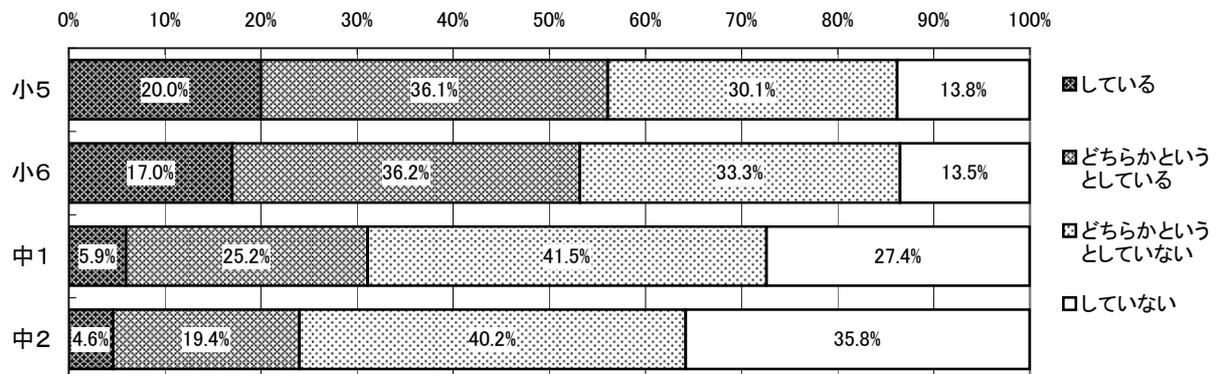
「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」を含むと、4割の児童（5・6年）、6割の生徒（1・2年）に学校外での学習が位置付いている。

一方、学習塾や家庭教師を含まない学校外での学習時間をみると、「1時間以上」がどの学年も5割程度である。

今後は、学年進行とともに「塾や家庭教師」による学習が位置付いている状況を踏まえつつ、学校で身に付けた学び方や自ら課題をもって学習する態度を大切に家庭学習の習慣化を図るとともに、特に家庭学習が「十分身に付いていない」児童生徒への個別指導を充実させることが必要である。

9 ふだんから、計画を立てて家庭での勉強をしていますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① している	20.0%	17.0%	5.9%	4.6%
② どちらかというとしている	36.1%	36.2%	25.2%	19.4%
③ どちらかというとしていない	30.1%	33.3%	41.5%	40.2%
④ していない	13.8%	13.5%	27.4%	35.8%



◇計画的な学習をしている割合は、小学校の方が高い

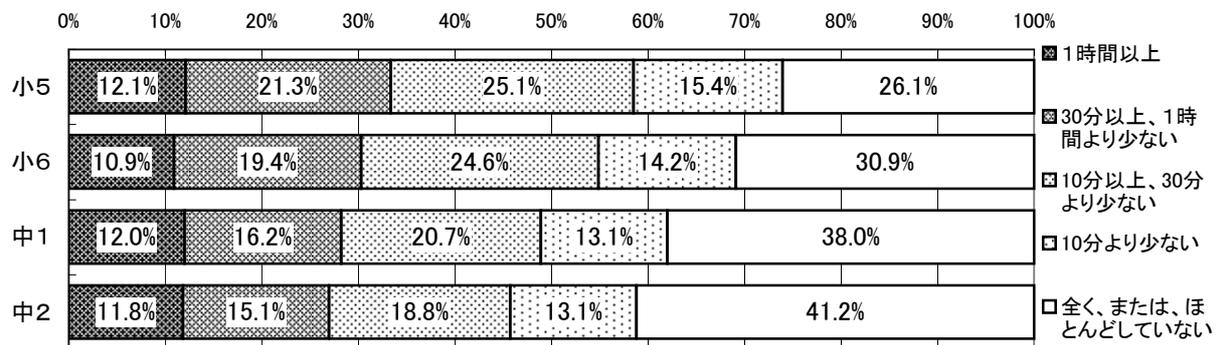
(H17新設)

「している」「どちらかというとしている」を含むと、児童(5・6年)の5割強は計画を立てて学習をしているが、生徒(1・2年)は3割程度となり、学年進行とともに減少している。また、「計画を立てて学習していない」と答える児童が1割強、生徒が3割程度いる。

今後は、「受身的な学び」から「主体的な学び・計画的な学び」となるよう、自己の目標やめあての設定、勉強する内容の整理、自己評価による学習姿勢の改善についての指導を充実させる必要がある。

10 土曜日、日曜日を除いた日で、学校の授業時間以外に、1日にだいたいどのくらい読書を読みますか。

	小5年	小6年	中1年	中2年
① 1時間以上	12.1%	10.9%	12.0%	11.8%
② 30分以上、1時間より少ない	21.3%	19.4%	16.2%	15.1%
③ 10分以上、30分より少ない	25.1%	24.6%	20.7%	18.8%
④ 10分より少ない	15.4%	14.2%	13.1%	13.1%
⑤ 全く、または、ほとんどしていません	26.1%	30.9%	38.0%	41.2%



◇3割程度の児童生徒は「1日30分以上」の読書をしている

「1時間以上」は、全ての学年で1割強、3割程度の児童(5・6年)生徒(1・2年)が「1日30分以上」の読書をしている。一方、「全くまたは、ほとんどしていません」は児童で3割程度、生徒で4割程度いる。これは、昨年度の傾向とほぼ同じである。

今後は、低学年からの読書指導の充実をめざし、家庭や地域と一体となった読書環境づくりが必要であり、読書の習慣化を図る指導を充実させることが必要である。